

「G7広島サミット50日前ウィークイベント企画運営業務」選定基準に基づく評価項目別の総合値

評価項目		審査の観点	株式会社中国新聞社	A者
1 基本方針		広島サミット県民会議の基本方針と本業務の目的・期待する効果を理解し、その実現に有効なコンセプト、構成になっているか	49	46
2 業務 実施 能力	【実施体制】	責任者、役割分担等が具体的に示され、広島サミット県民会議の要請に応じて即時の対応が出来る体制となっており、本業務を確実に履行すると認められるか	49	41
	【業務行程】	作業ごとに開始・終了が明確にされ、計画的で無理のないスケジュールとなっているか	47	37
3 企画 ・ 内容	【内容・集客力】	市民・県民の興味や関心を惹きつけ、来場させる集客力があり、またメディアなどによる情報の拡散性が高い企画であるか	101	87
	【開催・歓迎機運の醸成】	市民・県民が一体となって歓迎機運が高まるよう配慮されているか。また、サミット当日の交通総量抑制の協力が効果的に呼びかけられるよう工夫された企画であるか	45	46
	【理解促進】	市民・県民がG7サミットや参加国に対する理解を深めることができるように工夫された企画であるか	23	21
	【広島の魅力発信】	市民・県民が産業やスポーツ、多彩な山海の食資産、伝統芸能と豊かな自然が融合した文化など、広島の魅力に改めて誇りが持てる工夫がされた企画であるか	47	38
	【その他特に評価すべき内容】	その他企画内容が優れ、特に評価すべき内容があるか	47	40
4 業務実績		過去、類似の業務を実施した実績があるか	50	37
5 見積額		業務実施に必要な経費の詳細が示されており、業務内容に照らし適切な内容となっているか	21	20
合 計			479	413